

令和4年度第2回埼玉県秩父地域医療構想調整会議 議事概要

1 日時及び会場

令和5年3月6日（月）午後7時から午後8時
埼玉県秩父保健所小会議室（ウェブ会議システム併用）

2 出席者

- ・調整会議委員（別紙名簿のとおり）
委員総数20名 出席18名 欠席2名
- ・地域医療構想アドバイザー 1名
- ・事務局 保健医療政策課、医療整備課、秩父保健所 計7名
- ・傍聴者 3名

3 あいさつ

柳澤・秩父保健所長
井上議長（秩父郡市医師会会長）

4 議事

- (1) 議事1 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて
- ア 地域医療構想調整会議における対応方針の検証の進め方
 - イ 非稼働病棟を有する医療機関実態調査について
- 保健医療政策課から、資料に基づき説明がなされた。

【主な質問・意見等】

(井上会長)

- ・公立病院の検証は、地域全体での検証が大事と思うが、市立病院と小鹿野中央病院はどう考えるか。

(島村委員)

- ・医療資源は限られているので、地域内で医療人材をどう有効に活用していくかが今後の課題と考える。
- ・休床病床はもともと小児科の入院病棟だった。小児科の医師は、域内の患者を受け入れたいと言っているが、看護師を外来や救急に当てなければならないため、なかなか解消は難しい。
- ・今後人口構成や必要な医療が変わっていくので、医療人材の有効な活用を全体で考える場があったほうがいいのではと思う。

(内田委員)

- ・島村委員と全く同じ意見である。5年後10年後、人口や高齢化率がどうなっていくのかは、小鹿野町だけで、あるいは小鹿野中央病院や秩父市立病院だけで考える問題ではない。医師の数、開業医の数も5年後10年は変わってくる。
- ・小児科、救急、婦人科をどうするのかは、秩父郡市全体で考えなくてはいけないと思っている。どう連携していくか、将来のあるべき姿を共有する必要がある。
- ・例えば、地域医療連携推進法人を作って人的な交流を行うということもある。
- ・病院としてこうしたいというのではなく、1市4町全体で考えていかなければならない問題であるということを感じている。

(井上会長)

- ・私も医師会長として2人と全く同じ意見である。5年後10年後秩父の医療がどうなっているのか、今何も動かなければ悲惨なことになっているのではと思う。このような状況は、おそらく県内で秩父だけかもしれないが、10年後には県内全体に広がっているかもしれない
- ・この調整会議はこのままでいいかもしれないが、別の会議なり集まりを作って真剣に、かつ迅速に相談していくことが令和5年度中には必要であると思うので、御協力をお願いしたい。

(2) 報告1 埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

医療整備課から、資料に基づき公募結果についての説明がなされた。

【主な質問・意見等】

なし

(3) 報告2 令和3年度病床機能報告について

保健医療政策課から、資料に基づき説明がなされた。

【主な質問・意見等】

(井上会長)

- ・秩父地域の高度急性期のベッドはゼロだが、一般市民はどうなっているのかと思っているかもしれない。委員の皆様は、秩父に高度急性期病床を置けない事情はお分かりと思う。むしろ急性期の充実が大事だと思うが、島村委員は病院としてどう考えるか。

(島村委員)

- ・救急の病院はいくつかあるが、各病院間で、機能が重複している部分は整理できればよいと思う。
- ・今後高齢者が増える中で、どういった急性期の病床が必要であるかを考えていく必要がある。

(井上会長)

・秩父の人口や医療資源の状況から見ると、他地域との連携が必要と思われるが、県医師会の廣澤副会長はどう考えるか。

(廣澤・地域医療構想アドバイザー)

・圏域内でできないことはあると思うので、隣接する圏域と連携を取っていただければと思う。また、医師派遣についても検討していきたい。

・周りの地域、隣接する圏域との話し合いをしていただければと思う。

(4) 報告3 外来機能報告及び紹介受診重点医療機関について

保健医療政策課から、資料に基づき説明がなされた。

【主な質問・意見等】

なし

(5) その他

なし

(井上会長)

・廣澤 地域医療構想アドバイザーから、全体を通じての御意見をいただきました。

(廣澤・地域医療構想アドバイザー)

・秩父地域は以前から連携が取れていると思っていた。本日は委員から活発な発言があり参考になった。

・再確認だが、この地域医療構想調整会議は、圏域内での医療機関の役割、機能、課題、連携等の現状や今後の方針を共有することが主眼である。今後も議論をよろしくお願いしたい。

・「紹介受診重点医療機関」は、「地域医療支援病院」を念頭に置いたもの。当初は「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に扱う医療機関」という名称だったが、国の外来機能報告等に関するワーキンググループで、地域住民に分りにくいのではということで、「紹介受診重点医療機関」という名称に変えたものである。

(その他、1/29の医療政策研修会、地域医療構想アドバイザー会議の内容について情報提供があった。)

(閉会)